

榊原病院 Monthly

この病院で最も大切なひとは
治療を受ける人である
The most important person in this hospital is the patient.

Vol.55
2022.April

独立行政法人国立病院機構 榊原病院
National Hospital Organization SAKAKIBARA

院長

村田 昌彦(むらた まさひこ)

1962年生まれ
1991年富山医科薬科大学医学部卒
1996年同医学部大学院卒
2014年国立病院機構北陸病院精神科部長
2015年国立病院機構榊原病院副院長を経て、2018年国立病院機構榊原病院院長就任。
日本司法精神医学会理事。



病院理念 この病院で最も大切なひとは治療を受ける人である

新しくなった作業療法室へようこそ！

主任作業療法士 小林 敦子

「作業療法 (Occupational Therapy : 略称OT) 」とは、病気や障害により、生活能力や楽しみを失ってしまうなどの「生活のしづらさ」を抱える方々に対して、必要な支援を行っていきリハビリテーションの1つです。その支援方法はさまざまですが、日常生活の中にある作業活動(身の回りや家事、仕事、遊びなど)を通して、心身ともに健康で自分らしい生活を送っていただけるよう支援しています。

当院の作業療法室で主に行っているプログラムに「OTサロン」というものがあります。その「OTサロン」では、患者さまそれぞれの個性や得意なことを活かしながら、患者さまがやってみたくなるような「気づいたら自然とやっていた」そんな活動を提供できる場づくりを行ってきました。また、当院のすべての病棟の患者さまが集っていたため、老若男女、さまざまな方が交流する場「地域の縮図」のような場にもなっていました。

しかし令和2年4月、病棟改修の一環として作業療法室が移転することとなり、この「OTサロン」の実施が困難になってしまいました。当初は、プログラム内容を各病棟内で行えるものに大幅に変更し対応していましたが、コロナ禍も重なり、感染症対策の観点から場所や道具の問題も生じ、提供できる活動が限られました。

令和3年10月、ようやく病棟の改修も終わり、1年半ぶりに作業療法室がリニューアルオープンしました。作業療法室で「OTサロン」が再開できるようになったことで、「プレ作業所(退院後の通所先の候補でもある作業所への適応訓練)」などの新プログラムも本格的に始めることができるようになりました。感染症対策のため、今はまだ病棟ごとでの実施となっていますが、ゆくゆくは全病棟合同の一本来の「OTサロン」に戻っていければと考えています。

これからも、明るく広いスペースで、皆さまに今まで以上の作業療法を提供できるように、努めていきたいです。

診療科

- ・ 一般精神科
- ・ アルコール・薬物依存症
専門外来
- ・ こころのリスク外来

病床数 175床

- ・ 精神科病棟 157床
- ・ 医療観察法 18床
- ・ 強度行動障害ユニット



電車・バス/ 近鉄久居駅下車 三交バス
(車庫前行き) 約30分
自動車/
久居インターより約20分
マイクロバス/ 久居駅より直通バス(約25分)



地域医療連携室だより

〈医療福祉相談のご案内〉

経済的な心配、福祉サービスの利用、退院後の生活など病気によって生じた生活上の困り事について、精神保健福祉士がご相談に応じます。相談をご希望の方は、主治医、看護師及び医事受付まで申し出てください。

ゆうはあと訪問看護ステーション

令和元年6月に「ゆうはあと訪問看護ステーション」を開設しました。利用者様が地域で安心して暮らしていただけることを目標として訪問看護を提供しています。症状の観察や相談・お薬の管理・通院継続の支援・対人関係・コミュニケーションへの支援など、心身の回復のお手伝いを目的として行っています。

私たち「ゆうはあと」は、あなたの療養、そして暮らしを支えます。少しでも豊かに、少しずつ豊かになりますようにここで支えます。

治療抵抗性精神疾患への医療

〈クロザピンの治療状況〉

治療抵抗性統合失調症に対して、平成26年10月に1例目の投与を開始し、令和4年2月までに全症例は128例となりました。新規導入は2月1例、3月2例でした。順次投与を開始する予定です。クロザピン通院専門外来も開設しております。



認知症医療、こころのリスク外来

〈認知症医療〉

認知症の患者様は高齢であることから、様々な合併症をお持ちの方が多くおられます。また、アルコール問題の後に認知機能が低下することや、さらに身体疾患に併発した認知機能の障害は、若年の方にも見られます。

したがって、現在は80歳以上の超高齢の方と50～60代の若年の方に認知症が発症する傾向が多く見られます。身体的な問題については、法人内病院である三重中央医療センターと連携を図りながら、幻覚や妄想、不穏など認知症の周辺症状（BPSD）に対応しています。一般病院や介護施設において、BPSDの問題でお困りの場合はご相談ください。



〈こころのリスク外来〉

思春期・青年期はこころのリスク状態が高まり、さまざまなこころの病気を発症しやすいと言われています。当外来はこころのリスク状態を早期に発見・治療していくための専門外来ですので、お気軽にご相談ください。

デイ・ケア案内

デイケアは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、午前中のみショートケアとして実施しています。時間は月、火、水、金の午前9:30から午後12:30までです。

デイケアに通うことで、生活リズムを整える、気分転換する、社会活動参加の準備をする、コミュニケーションの機会になる等の効果があります。

現在は、密集を避けるために、「デイケアサロン」として、お好みの活動を選ぶ方法にて活動しています。散歩、一人でのカラオケ、アート、手芸、音楽鑑賞、クイズ、脳トレ等から選んでいただけます。

感染状況が落ち着けば、午前9:30から午後3:30までのデイケアも再開します。どうぞデイケア室をご利用ください。



さんぽで満開の桜を堪能しました。



みんなで植えたチューリップが
たくさん咲きました。



※ホームページに「デイケアでの感染予防プログラムの学びと実践の取り組みについて」を掲載しています。

栄養コラム



「日本食品標準成分表2020年版（八訂）」 たんぱく質の算出方法の変更

「日本食品標準成分表」は日常的な食品の食べられる部分100gあたりに含まれる栄養成分（炭水化物、たんぱく質、脂質など）やエネルギーなどの数値が掲載されているものです。昨年、改定版である2020年度版（八訂）が公開されました。

これまで、たんぱく質の算出方法は、食品中に含まれる窒素の量に、たんぱく質の量を推定できる一律の数字をかけるものでした。しかし、動物性食品と植物性食品において、たんぱく質をつくる要素が異なるため、一律の数値をかけると過大評価・過小評価になる場合があります。このことからたんぱく質の部品ともいえるアミノ酸を測って、それぞれのアミノ酸の量を合算する方法に変更しました。つまり、算出方法を変更することでより実際の摂取量に近い値になりました。